

2050年 岡谷市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で記録的な高温や大雨、干ばつなど自然災害が頻発しており、地球温暖化による異常気象の影響は深刻化しています。県内においても集中豪雨などによる大規模な被害が発生しており、岡谷市では、2006（平成18）年、2021（令和3）年に発生した大雨による土石流により、尊い人命が失われ、甚大な被害を受けました。

このような危機的状況の中、2015（平成27）年に合意されたパリ協定において、「世界的な平均気温の上昇を、産業革命前と比べ1.5℃に抑える努力をする」目標が広く共有されています。

国においても、2020（令和2）年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言するなど、地球温暖化に対する動きは加速しています。

岡谷市では、2020（令和2）年に「第4次岡谷市環境基本計画」を策定し、「あふれる緑と清らかな水につつまれたまちをめざして」を望ましい環境像として、市民・事業者・行政が連携・協力のもと、その実現に取り組んできました。

今後もその理念を継承し、かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、「第2次岡谷市地球温暖化対策実行計画」を策定し、2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

2022（令和4）年 3月22日

岡谷市長 **今井竜五**